

第23回世界スカウトジャンボリーにおける Wi-Fiホットスポットの無線中継

光ファイバー網に劣らないギガビット無線通信 アンテナ一体型小型中継機 「Siklu EtherHaul-600T」

世界からのスカウトが集まるジャンボリー会場においても、ネットワーク構築は欠かせない。それは、水・食料・電気の供給と共に重要な役割を担っている。今回のような野外でのネットワーク利用では、無線LANが重要な役割を果たし、特にモバイル・デバイスであるタブレットPCやスマートフォンが主な接続機器となる。

今回の屋外ネットワークでは、各無線LANアクセスポイントの敷設は光ファイバー網やLANケーブルといった有線網がメインだが、有線網の敷設が困難なエリアにおいては、無線中継機「Siklu EtherHaul-600T」が利用された。



■ イベント概要

- 内容** : 4年に1度開かれる世界スカウト機構主催のスカウトの大会です。世界155の国と地域から約3万4千人の青少年が集まり、約2週間のキャンプを通じて親睦を深めます。
- 場所** : 山口県山口市阿知須・きらら浜
- 時期** : 2015年7月28日～8月8日



■ 高速通信特性と設置簡易性

3万人のボーイスカウトが山口県のきらら浜に全世界から集まる。

その期間は2週間。日常的に利用しているインターネットから情報を遮断される事は非常に苦痛な状況になる。しかしながら、野外で東京ドーム10個分にあたるエリアに無線アクセスを供給するのは、相当に困難を極める。電波強度の問題や、干渉の問題、ネットワークセキュリティの問題もクリアしなければならない。

しかも、非常に短い期間で構築しなければならない。

接続される機器もまた、様々である。アクセスするデバイスが多いうえ、表示するコンテンツも大容量になってきている。スループットを確保出来なければ、利用者から不満がでる可能性もある。

救護所とイースタンハブの西側ブロックを結ぶネットワークは、救急車や給水トラックが頻繁に通過する道路を横断する必要があり、LANケーブルを敷設することは困難であった。

EtherHaul-600Tは、この二点間を結ぶことで、この問題を解決した。

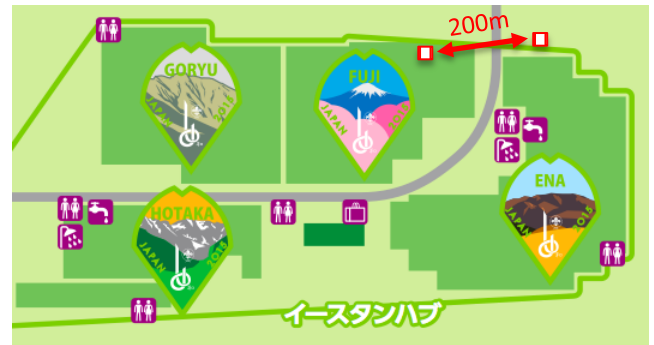
「仮設用途だったので、1時間で設定完了したのは良かった。スループットも全く問題なく利用する事が出来た。」

ジャンボリーネットワーク担当の大江将史様（自然科学研究機構 国立天文台助教 工学博士）は語る。

Siklu
Magic in the air



EtherHaul-600T 設置外観



利用箇所

■ EtherHaul- 600T 1Gbps無線システムの利用例

- WiFi網のバックホール
- 監視カメラネットワーク網
- ビル間中継によるLANの拡張
- 既存無線中継網のバックアップ
- 道路横断や河川越しの無線中継
- 防災無線ネットワークの基幹網
- 放送機器の短距離中継網
- イベント利用の仮設ネットワーク



お問い合わせ

Upside 合同会社

〒106-0062 東京都千代田区九段北1-4-1
電話 : 03-6261-3973
メール : info@upside-llc.com

Upside
Upside LLC.